

第4章 計画の基本理念と目標

1.課題の整理

「自転車を取り巻く環境」や「自転車に関する現状」を踏まえ、藤枝市における自転車活用に関する課題を以下に整理します。

課題1：安全・安心に自転車を利用できる環境の創出が必要

【課題(○)と関連する主な現況(>)について】

○効果的・計画的な自転車通行空間の整備が必要

- 交通事故件数は減少傾向にある一方で、自転車事故の割合は上昇傾向です
- 藤枝駅周辺など中心市街地や信号機のない交差点などで自転車事故が多い傾向です

○自転車に関する制度やルール・マナーの周知が必要

- 自転車事故に加え、自転車の違反件数が上昇傾向です
- 高校生の自転車事故割合が高い傾向です

○快適な走行環境の維持が必要

- 過去に整備した自転車通行空間の路面標示が不明瞭になっている箇所があります

課題2：自転車利用の裾野拡大に資する環境の創出が必要

【課題(○)と関連する主な現況(>)について】

○効果的・計画的な自転車通行空間の整備が必要【再掲】

- 自転車は通学や私用(通院・買物等)目的などで多く使われています

○日常的な自転車利用の促進が必要

- 短い移動でも自動車を利用する割合が高い傾向です
- 温暖化によって気温が上昇しています
- 利便性向上に繋がる公共交通と自転車の連携が限定的な現状です
- 老年人口が増加しています

○快適な自転車利用環境の維持が必要

- シェアサイクルの利用者数が増加しています

課題3：サイクルツーリズムやサイクリスポーツの振興が必要

【課題(○)と関連する主な現況(>)について】

○効果的・計画的な自転車通行空間の整備が必要【再掲】

- サイクリングルートについても通行空間整備が限定的です

○快適なサイクリング環境の維持が必要

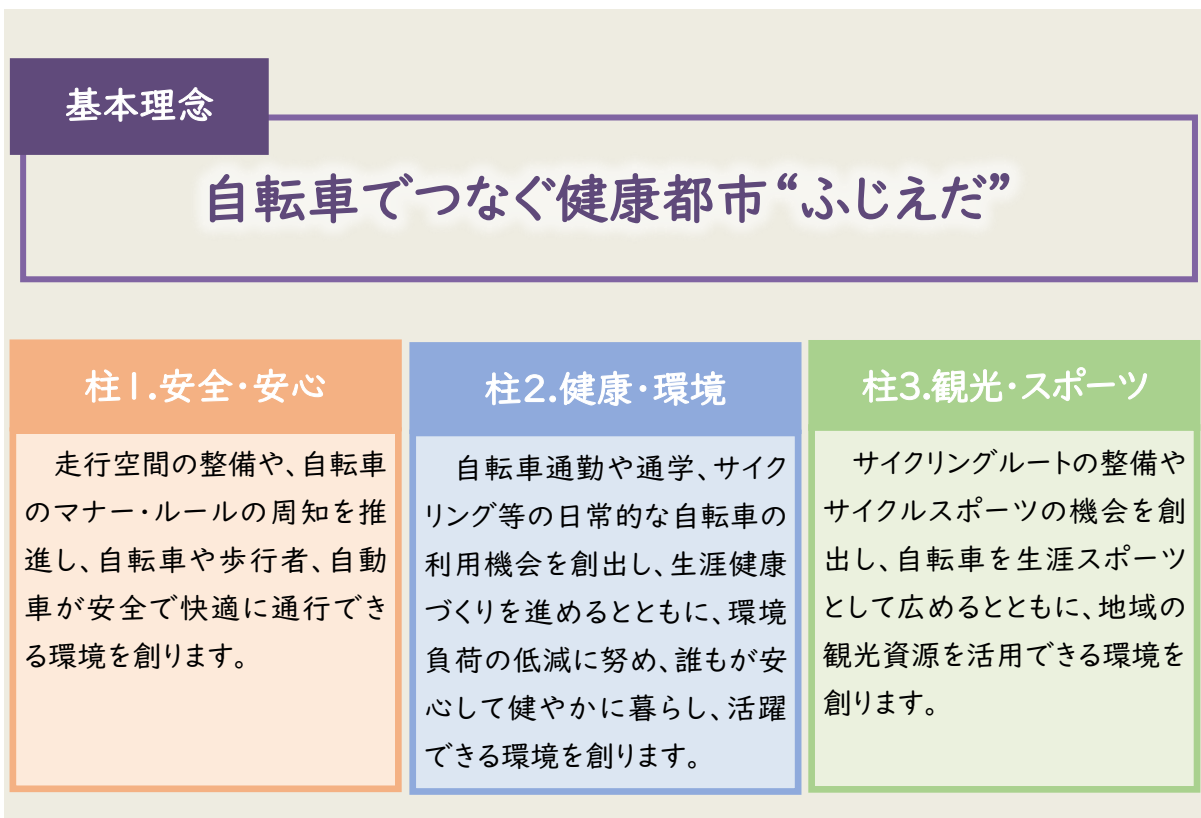
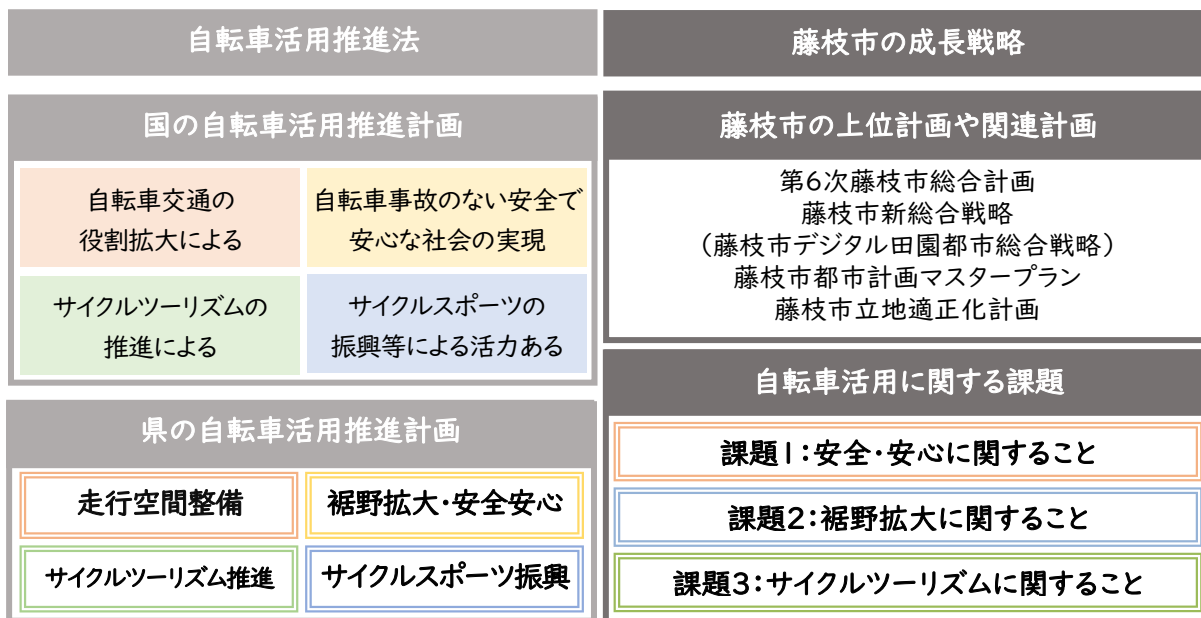
- サイクリングマップの作成など受入環境整備を行っているが、整備が限定的です

○サイクリスポーツの振興が必要

- サイクリスポーツに関わる機会が少ない現状です

2.自転車の活用を推進するための基本理念

自転車活用に関する課題に加え、国や県の自転車活用推進計画と本市の上位計画の方針と連携し、自転車の活用を推進するための、「基本理念」とその「柱」を以下に示します。



3.計画の目標

本計画の3つの柱について、それぞれの目標を以下に設定します。目標を基に具体的な施策を実施し、自転車の活用を推進していきます。

柱	目標
1.安全・安心 子どもから高齢者まで安全・安心で自転車を利用できる環境の形成	目標1：自転車の安全で快適な走行環境整備の推進 自転車が安全で快適に利用できるように走行環境を整備し、自転車の安全性及び利便性向上を図る。
	目標2：自転車の安全・安心な利用環境創出の推進 自転車のルール・マナーや制度の周知・徹底などによる、安全・安心な自転車利用環境を創出し、交通事故・違反件数の減少を目指す。
2.健康・環境 自転車の日常的な利用機会の創出による健康増進と環境負荷の低減	目標3：自転車の日常的な利用機会創出の推進 通勤やサイクリングなど、日常的に気軽に自転車を利用できる環境を創出し、身近に運動を取り入れることにより、健康増進を図る。
	目標4：環境負荷の低減に関する取組の推進 自転車活用により自動車依存から脱却し、CO ₂ 排出量削減を目指す。
3.観光・スポーツ 地域資源を活用したサイクルツーリズムやサイクルスポーツの振興	目標5：サイクリストの受入環境創出の推進 サイクリングルートにおける基盤整備やサイクルツーリズムに関する情報発信を行い、観光振興に寄与する。
	目標6：サイクルスポーツの機会創出の推進 サイクルスポーツに関する情報発信や選手への支援を行い、サイクルスポーツの振興に寄与する。